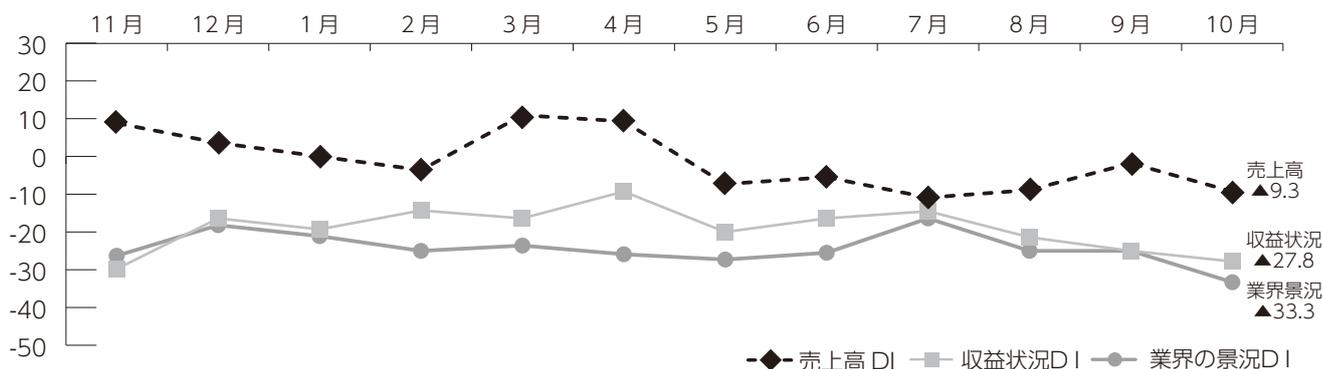


引き続きコスト増や人手不足の厳しさが続く

概況

一部で売上が回復するも、人件費、運送費、光熱水費、原材料費の高騰により、引き続き厳しい経営環境が続いている。また、多くの業種で人手不足に言及しており、採用難に伴う高齢化の進行や、人手不足に伴う外注費の増加に苦慮する様子が窺える。

主要DIの推移（全体）



景況天気図（前年同月比）

	売上高	在庫数量	販売価格	取引条件	収益状況	資金繰り	設備操業度	雇用人員	業界の景況
全業種平均	☁	☁	☀	☁	☁	☁	☁	☁	☁
製造業	食料品	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁
	繊維製品	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁
	窯業・土石	☁	☁	☀	☁	☁	☁	☁	☁
	機械・金属	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁
	その他	☁	☁	☀	☀	☁	☁	☁	☁
非製造業	卸売業	☀	☁	☁	☀	☁	—	☁	☁
	小売業	☁	☁	☀	☁	☁	—	☁	☁
	商店街	☁	☁	☀	☁	☁	—	☀	☁
	サービス業	☁	—	☀	☁	☁	—	☁	☁
	建設業	☁	—	☀	☁	☁	—	☁	☁
	運輸業	☁	—	☁	☁	☁	—	☁	☁



天気図は、各景況項目について調査月と前年同月を比較して、DI値を基に判断したものです。
 DI値 = (増加・好転) - (減少・悪化) ÷ 回答数

コメント掲示板

《製造業》

食 料 品	<p>【パン】 原料価格の上昇に伴う価格転嫁は、販売減少という悪循環が懸念されるため難しい。さらに、雇用状況は大変難しく、人員確保が困難な状況となっている。</p> <p>【製麺】 販売数量の微減傾向が続いている。プライベートブランド等の安い商品が出回り厳しい状況は変わらない。</p>
織 維 製 品	<p>【織物（桐生市）】 10月の販売会では、合成繊維・絹製品共に来場者・受注が増加。広幅の婦人服地は受注が鈍化傾向だが、展示会で積極的な商談もあり明るい兆しが見られた。</p> <p>【外衣・シャツ】 最低賃金の上昇が収益に影響する中、取引の引き合いは活発で価格転嫁と受注増が課題。業態変革を上手く進める企業は業況が順調に推移している。</p> <p>【インテリア関連】 住宅着工件数の減少で販売が鈍化し、在庫過多と受注減が続く。前年比10～15%の落ち込みで、今後の需要期に不安を抱えている。</p>
窯業・土石	<p>【コンクリートブロック】 業界の景況は前年同月比で同等程度。また、運転手不足で輸送手段の確保が困難であり、配送手段の見直しが求められている。</p> <p>【碎石】 売上高は、西毛、吾妻地域で増加したが、渋川、東毛地域では減少しており、全体的には不変の状況にある。</p>
機 械 ・ 金 属	<p>【めっき】 薬品や金属の値上げ、人件費や運送費の高騰が続く中、県内企業の受注は低迷。人手不足も深刻な課題となっている。</p> <p>【機械金属（高崎市）】 自動車関連の落ち込みが続き、先行き不透明。一方で、別部門を手掛けるようになった企業は好調だが、今後の継続性を不安視。全体的に雇用人員は減少傾向。</p> <p>【機械金属（富岡市）】 採用について、少子高齢化の影響からか募集案内をしてもなかなか採用に結びつかない。賃金や材料費高騰の価格転嫁も難航し、収益状況は厳しい。</p>
そ の 他	<p>【家具】 売上は前年より好転しているが、市場環境は依然厳しく、受注や売上の回復には至っていない。</p> <p>【紙製品】 年末に向けて最盛期を迎えるも売上は前年を下回り、販売量も減少傾向。不安定な受注と物価上昇による消費低迷を不安視している。</p>

《非製造業》

卸 売 業	<p>【紙卸売】 特殊紙、合成紙関連の値上げに対し、一部で価格転嫁を実施し売上高が増加、収益状況も価格改定が反映された影響がみられる。</p> <p>【計測機器関連】 価格転嫁により収益状況は好転。しかし、借入金利の上昇に伴うコスト増がみられるとともに、人員を募集しても採用できない状況が続いている。</p>
小 売 業	<p>【中古自動車オークション】 出品台数、成約台数がともに減少しており、収益に影響。中古販売店業界は、経営者の高齢化と世代交代の遅れが課題となっている。</p> <p>【石油】 暖かい日が続いた影響で10月の灯油売上は対前年同月比で若干減少。多くの組合員は後継者が不在の状況で、過疎地のSS減少による給油難民の増加を憂慮。</p> <p>【生花】 生花業界は冠婚葬祭需要の減少と花材高騰で厳しい状況が続いており、ホームユースやギフト需要の取り込みが課題。</p>
商 店 街	<p>【前橋市】 前橋祭りは土日ともに例年より人出が少ない印象。一方で、ブックフェスは多くの人で賑わい、賑わいの創出にはボランティア等のマンパワーの重要性を感じている。</p> <p>【高崎市】 過ごしやすい気候で人出や回遊客は増え、イベントも賑わいを見せているが、物販では物価高騰による買い控えの影響が感じられる。</p>
サービ 業	<p>【建設設計】 人材不足と若者離れ、高齢化が深刻。資格取得の時間・費用面のハードルが高く、若者が資格取得を敬遠するのも要因で、待遇改善や資格取得支援が課題。</p> <p>【温泉旅館】 宿泊客数は増加傾向。しかし、紅葉時期の遅れによる客足の鈍化も危惧しており、また、原材料や固定費の高騰が利益率の低下を招いている。</p> <p>【不動産】 コロナ禍以降、都市部の不動産価格は回復傾向にあるが、地方は停滞気味。資材高騰で新築価格が上昇し、中古物件の需要が高まりつつある。</p>
建 設 業	<p>【建設】 時間外労働の上限規制適用後、工事コストの上昇、生産性の低下等の課題が発生し、設計労務単価の引き上げや工期調整を発注者に求める声が多い。</p> <p>【電気工事】 受注状況は昨年並みだが、働き方改革の影響で時間外・休日対応が難しく、仕事の調整に苦慮。法令遵守のため外注化が進み、経費が増加傾向。</p> <p>【砂利採取】 需要不足から前年同月比で生産量・出荷量はともに落ち込む。また、砂の在庫量の回復はみられない。</p>
運 輸 業	<p>【一般貨物運送】 飲料水値上げで9月までに出荷が集中し、10月の出荷量は急落。運転手不足が続く、時間外労働規制対応も苦慮。</p> <p>【貨物軽自動車運送】 スポット配送は、弁当配送等の依頼があり増加。</p>

※本調査は、情報連絡員57人の報告を取りまとめ、その概要を示したものです。